



宝の山から望む天鏡湖

ご存知ですか、携帯トイレ

磐梯山にはトイレがありません。しかし、山にトイレが無いことを知らずに登る人が多くいるため、山が汚物やティッシュで汚れていることが問題になっています。そこで磐梯山では「携帯トイレ事業」を導入しています。携帯トイレは弘法清水小屋と岡部小屋で1セット300円で販売しています。

使用済みの携帯トイレは、猪苗代登山口、裏磐梯登山口、八方台登山口に設置してある回収箱に入れるか、家まで持ち帰り燃えるごみとして処分してください。

岡町商工観光課商工観光係 (62) 2117



携帯トイレ回収箱

1_大勢の登山者でにぎわう弘法清水。登山者は休憩をとったり、雄大な景色を写真に収めたりしていた

2_首都圏からのグループ。リーダーの宮坂尚之さん(埼玉県)は会津大学の出身。仲間を連れて、初めての磐梯山登山に挑戦した

3_塚本万琴さん(喜多方市)は東京に住む祖母へはがきを投函

4_シーズン中の無事故を祈る関係者ら

5_登山が共通の趣味という田村市の松本文子さん(右)と大玉村の佐藤春江さん(左)。二人は「登山はきつけれど、山頂にたどり着いた時の達成感は得難い」と笑顔で話した

6_登山道に花を咲かせたミヤマキンバイ



第59回 磐梯山山開き

日本百名山の一つ、福島県が誇る秀峰磐梯山(1816m)の山開きは5月22日に行われ、昨年を上回る約4千人の登山者が山頂を目指しました。

猪苗代登山口では、関係者や登山者らが参加して安全祈願式典が行われました。八幡神社の鈴木重隆宮司が祝詞を奏上し、前後公町長らが玉串をささげ、シーズン中の無事故を祈りました。式典では、前後町長が「昨シーズンの磐梯山の登山者数は約3万4百人で、震災前とほぼ同じ水準まで回復してきた。磐梯町、北塩原村と連携し、磐梯山の環境保全と登山者の安全対策に努めたい」とあいさつしました。

磐梯山には6カ所の登山口があり、登山者は思い思いのペースで登山しました。登山道にはミヤマキンバイやイワカガミなどの花が開花し、登山者の目を楽しませていました。

山頂手前の弘法清水では、会津郵便局長会、会津東部会による青空郵便局が開局。先着千人に記念はがきを配布しました。登山者は記念スタンプを押し、登山の感想などをつづったはがきを臨時ポストに投函しました。

晴天にも恵まれ、山頂からは猪苗代湖を見下ろす大パノラマが広がりました。田植えの時期と重なり、水田に水が入ったため、猪苗代湖がまるで一回り大きくなったかのような美しい景色を望むことができました。

猪苗代山岳会の佐藤英一郎会長は「登山を通じて大自然に向き合うことで、普段の生活では見えないことを感じることができる。磐梯山がいつまでも愛される山であり続けるため、皆さんと豊かな自然を守りたい」と話しました。